ブラシレスモータスタータキット(RX72T/RX66T)
取扱説明書

ルネサス エレクトロニクス社 RX72T/RX66T(QFP-144 ピン)搭載
ブラシレスモータスタータキット

-本書を必ずよく読み、ご理解された上でご利用ください

株式会社北斗電子

REV.1.1.0.0

ー目　次ー

注意事項 **1**

安全上のご注意 **2**

特徴 **4**

製品内容 **4**

1.　キット内容 **6**

1.1.　全体構成 6

1.1.1.　マイコンボード(K1) 7

1.1.2.　接続ボード(K2) 7

1.1.3.　モータドライバボード(K3) 7

1.1.4.　ホールセンサー付きブラシレスモータ(K4) 8

1.2.　お客様にご用意頂く必要があるもの 9

1.2.1.　電源 9

1.2.2.　オシロスコープ 9

1.2.3.　開発環境 9

1.2.4.　プログラム書き込み環境 10

2.　組み立て **11**

2.1.　組み立て手順 11

2.2.　2~4 個のモータを接続する場合 14

3.　動作 **15**

3.1.　初期設定 15

3.2.　電源を投入する 16

3.3.　モータを動かす 17

4.　接続ボード **18**

4.1.　概要 18

4.2.　ボードレイアウト 19

4.3.　電源系 20

4.4.　信号接続 21

4.4.1.　SW 21

4.4.2.　LED 21

4.4.3.　J5 モータドライバボード接続端子 CH-1 22

4.4.4.　J6 モータドライバボード接続端子 CH-2 23

4.4.5.　J7 モータドライバボード接続端子 CH-3 24

4.4.6.　J6 モータドライバボード接続端子 CH-4 25

取扱説明書改定記録 26

お問合せ窓口 26

注意事項

本書を必ずよく読み、ご理解された上でご利用ください

【ご利用にあたって】

1. 本製品をご利用になる前には必ず取扱説明書をよく読んで下さい。また、本書は必ず保管し、使用上不明な点がある場合は再読し、よく理解して使用して下さい。
2. 本書は株式会社北斗電子製マイコンボードの使用方法について説明するものであり、ユーザシステムは対象ではありません。
3. 本書及び製品は著作権及び工業所有権によって保護されており、全ての権利は弊社に帰属します。本書の無断複写・複製・転載はできません。
4. 弊社のマイコンボードの仕様は全て使用しているマイコンの仕様に準じております。マイコンの仕様に関しましては製造元にお問い合わせ下さい。弊社製品のデザイン・機能・仕様は性能や安全性の向上を目的に、予告無しに変更することがあります。また価格を変更する場合や本書の図は実物と異なる場合もありますので、御了承下さい。
5. 本製品のご使用にあたっては、十分に評価の上ご使用下さい。
6. 未実装の部品に関してはサポート対象外です。お客様の責任においてご使用下さい。

【限定保証】

1. 弊社は本製品が頒布されているご利用条件に従って製造されたもので、本書に記載された動作を保証致します。
2. 本製品の保証期間は購入戴いた日から1年間です。

【保証規定】

保証期間内でも次のような場合は保証対象外となり有料修理となります

1. 火災・地震・第三者による行為その他の事故により本製品に不具合が生じた場合
2. お客様の故意・過失・誤用・異常な条件でのご利用で本製品に不具合が生じた場合
3. 本製品及び付属品のご利用方法に起因した損害が発生した場合
4. お客様によって本製品及び付属品へ改造・修理がなされた場合

【免責事項】

弊社は特定の目的･用途に関する保証や特許権侵害に対する保証等、本保証条件以外のものは明示・黙示に拘わらず一切の保証は致し兼ねます。また、直接的・間接的損害金もしくは欠陥製品や製品の使用方法に起因する損失金・費用には一切責任を負いません。損害の発生についてあらかじめ知らされていた場合でも保証は致し兼ねます。
ただし、明示的に保証責任または担保責任を負う場合でも、その理由のいかんを問わず、累積的な損害賠償責任は、弊社が受領した対価を上限とします。本製品は「現状」で販売されているものであり、使用に際してはお客様がその結果に一切の責任を負うものとします。弊社は使用または使用不能から生ずる損害に関して一切責任を負いません。
保証は最初の購入者であるお客様ご本人にのみ適用され、お客様が転売された第三者には適用されません。よって転売による第三者またはその為になすお客様からのいかなる請求についても責任を負いません。
本製品を使った二次製品の保証は致し兼ねます。

安全上のご注意

製品を安全にお使いいただくための項目を次のように記載しています。絵表示の意味をよく理解した上でお読み下さい。

表記の意味

⚠警告	取扱を誤った場合、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる可能性がある事が想定される
⚠注意	取扱を誤った場合、人が軽傷を負う可能性又は、物的損害のみを引き起こすが可能性がある事が想定される

絵記号の意味

	一般指示 使用者に対して指示に基づく行為を強制するものを示します		**一般禁止** 一般的な禁止事項を示します
	電源プラグを抜く 使用者に対して電源プラグをコンセントから抜くように指示します		**一般注意** 一般的な注意を示しています

⚠警告

以下の警告に反する操作をされた場合、本製品及びユーザシステムの破壊・発煙・発火の危険があります。マイコン内蔵プログラムを破壊する場合もあります。

1. 本製品及びユーザシステムに電源が入ったままケーブルの抜き差しを行わないでください。
2. 本製品及びユーザシステムに電源が入ったままで、ユーザシステム上に実装されたマイコンまたはIC等の抜き差しを行わないでください。
3. 本製品及びユーザシステムは規定の電圧範囲でご利用ください。
4. 本製品及びユーザシステムは、コネクタのピン番号及びユーザシステム上のマイコンとの接続を確認の上正しく扱ってください。

発煙・異音・異臭にお気付きの際はすぐに使用を中止してください。

電源がある場合は電源を切って、コンセントから電源プラグを抜いてください。そのままご使用すると火災や感電の原因になります。

⚠注意

以下のことをされると故障の原因となる場合があります。

1. 静電気が流れ、部品が破壊される恐れがありますので、ボード製品のコネクタ部分や部品面には直接手を触れないでください。
2. 次の様な場所での使用、保管をしないでください。

   ホコリが多い場所、長時間直射日光があたる場所、不安定な場所、衝撃や振動が加わる場所、落下の可能性がある場所、水分や湿気の多い場所、磁気を発するものの近く
3. 落としたり、衝撃を与えたり、重いものを乗せないでください。
4. 製品の上に水などの液体や、クリップなどの金属を置かないでください。
5. 製品の傍で飲食や喫煙をしないでください。

ボード製品では、裏面にハンダ付けの跡があり、尖っている場合があります。

取り付け、取り外しの際は製品の両端を持ってください。裏面のハンダ付け跡で、誤って手など怪我をする場合があります。

CD メディア、フロッピーディスク付属の製品では、故障に備えてバックアップ(複製)をお取りください。

製品をご使用中にデータなどが消失した場合、データなどの保証は一切致しかねます。

アクセスランプがある製品では、アクセスランプが点灯中に電源を切ったり、パソコンをリセットをしないでください。

製品の故障、データの消失の恐れがあります。

本製品は、医療、航空宇宙、原子力、輸送などの人命に関わる機器やシステム及び高度な信頼性を必要とする設備や機器などに用いられる事を目的として、設計及び製造されておりません。

医療、航空宇宙、原子力、輸送などの設備や機器、システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身や火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社では責任を負いかねます。お客様ご自身にて対策を期されるようご注意ください。

特徴

本製品は、ブラシレスモータの制御を学習する目的のスタータキットです。

制御用マイコンボード（HSBRX72T144、または HSBRX66T144）及び、モータドライバボード、ブラシレスモータがセットになっており、ブラシレスモータ制御のアプリケーション開発を行うことが出来ます。

キットに含まれるマイコンボードは、フラッシュメモリ内蔵のルネサス エレクトロニクス製 RX72T または RX66T（QFP-144 ピン）マイコン搭載ボードです。

キットに付属するブラシレスモータは、模型用のモータを採用しており、この種のキットとしては比較的お求め易い製品となっております。（製品の定格内であれば、本キットを用いお客様で用意されたモータを駆動することも可能です）

RX72T/RX66T は、タイマ機能が豊富で、4 つ程度のモータを動かす十分な機能を持っています。

本キットは、モータを駆動するためのモータドライバボード及びブラシレスモータが各 1 つ付属していますが、別売の「ブラシレスモータ拡張キット」をお求めいただきますと、最大 4 つのブラシレスモータを同時に、独立で制御することができます。

製品内容

本製品は、下記の品が同梱されております。ご使用前に必ず内容物をご確認ください。

・ブラシレスモータスタータキット(RX72T)

- ・マイコンボード(HSBRX72T144)……1 枚
- ・モータドライバボード(BLM_EV6)……1 枚
- ・接続ボード(HSBRX66TMIF)……1 枚
- ・ブラシレスモータ(TBLM-02S)……1 個
- ・ソフトウェア CD ……1 枚
- ・モータ駆動ケーブル(3 相) ……1 組
- ・ホールセンサケーブル……1 本
- ・インタフェースケーブル(26P)……1 本
- ・回路図……1 部

・ブラシレスモータスタータキット(RX66T)

・マイコンボード(HSBRX66T144)	1 枚
・モータドライバボード(BLM_EV6)	1 枚
・接続ボード(HSBRX66TMIF)	1 枚
・ブラシレスモータ(TBLM-02S)	1 個
・ソフトウェア CD	1 枚
・モータ駆動ケーブル(3 相)	1 組
・ホールセンサケーブル	1 本
・インタフェースケーブル(26P)	1 本
・回路図	1 部

別売の「ブラシレスモータ拡張キット」は、以下の製品内容となります。

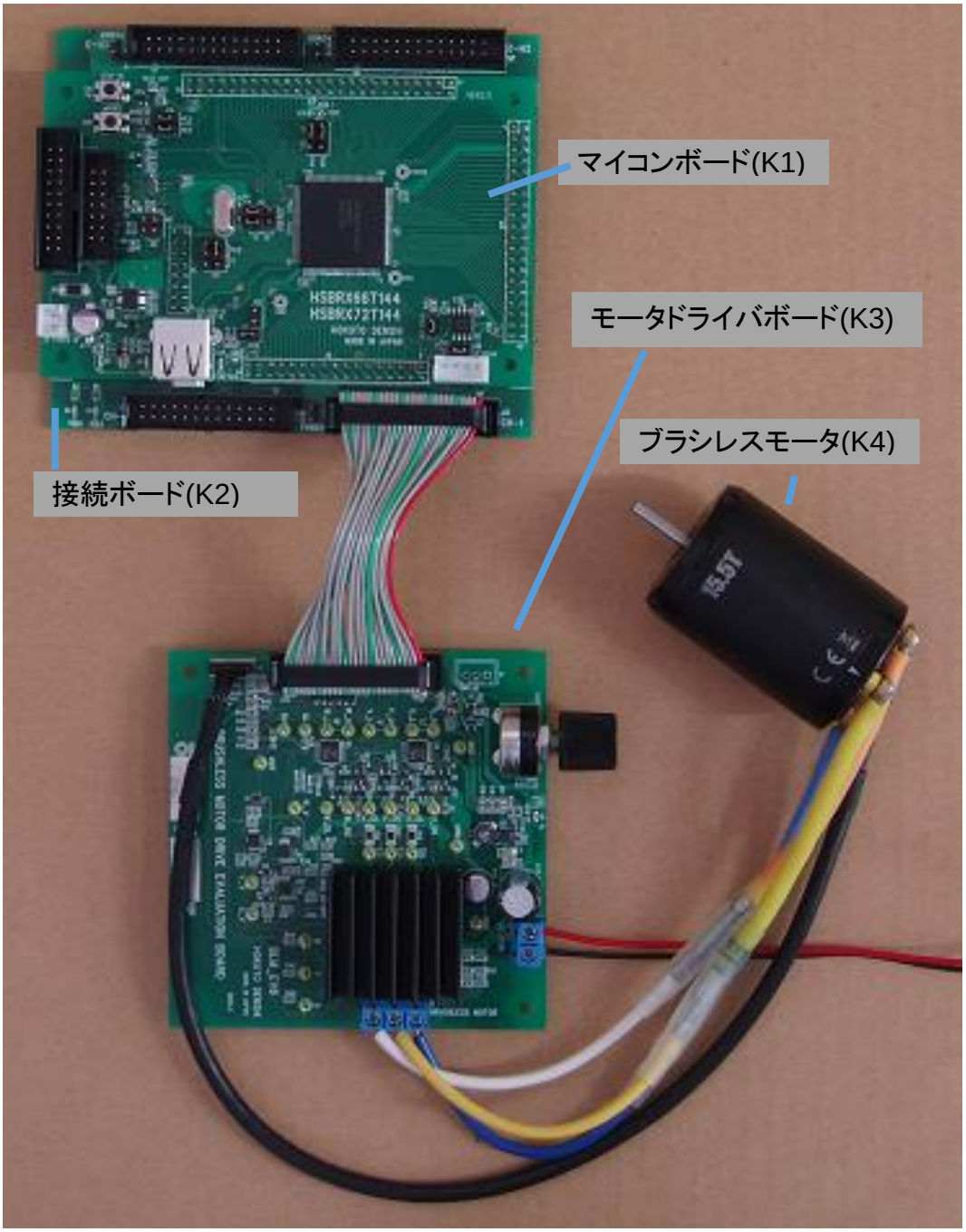
・ブラシレスモータ拡張キット

・モータドライバボード(BLM_EV6)	1 枚
・ブラシレスモータ(TBLM-02S)	1 個
・モータ駆動ケーブル(3 相)	1 組
・ホールセンサケーブル	1 本
・インタフェースケーブル(26P)	1 本
・回路図	1 部

本キットで、4 台のモータを同時に回す場合、「ブラシレスモータ拡張キット」が 3 セット必要になります。

1. キット内容

1.1. 全体構成



1.1.1. マイコンボード(K1)

RX72T マイコンを搭載した HSBRX72T144、もしくは RX66T マイコンを搭載した HSBRX66T144 です。マイコンボード詳細は、HSBRX72T144/HSBRX66T144 取扱説明書

HSBRX72T144_HSBRX66T144_REV_s.pdf

を参照ください。

1.1.2. 接続ボード(K2)

マイコンボードの I/O 端子で、モータ制御に必要なものを、モータドライバボードに引き出して接続するためのボードです。

（ボードシルク：HSBRX66TMIF）

マイコンボード用コネクタ(50P, 40P, 34P, 16P)、モータドライバボード用ボックスコネクタ×4(26P)、スイッチ（4 つ）及びモニタ LED（2 つ）が付いています。

1.1.3. モータドライバボード(K3)

ブラシレスモータの駆動に必要なハードウェアを備えたボードです。

・モータ駆動用 FET
・相電圧モニタ
・相電流モニタ
・ホールセンサインタフェース
・電源回路

等の機能を実装しています。

モータドライバボード詳細は、ブラシレスモータドライバボード取扱説明書

BLUSHLESS_MOTOR_DRIVER_BOARD_REV_s.pdf

を参照ください。

1.1.4. ホールセンサー付きブラシレスモータ(K4)

キット付属のモータは、タミヤの TBLM-02S となっています。

定格電圧は、7.2V となっており、ラジコンカー向けに設計された、ホールセンサ内蔵のブラシレスモータで、大きさの割りに大きな駆動力を持っています。

モータは、キット付属のモータ以外でも接続する事が出来ます。

1.2. お客様にご用意頂く必要があるもの

1.2.1. 電源

電源は、7.2V 2A程度を出力可能なものをご用意ください。

※電流制限機能を持つ電源装置を推奨致します

7.2V を出力できる電源をお持ちでない場合は、別売オプションとして、DC12V から 7.2V に変換する

「ブラシレスモータ用 7.2V 電源接続ボード」

を用意していますので、別途お求めください。(「ブラシレスモータ用 7.2V 電源接続ボード」をお使いになる場合でも、12V の電源は、お客様側で用意頂く必要があります。

1.2.2. オシロスコープ

モータドライバボード上には、各部電圧波形が観測できるよう、観測端子を設けてあります。オシロスコープを接続すると、モータ動作時の波形を観測することが出来ます。

※オシロスコープは、本キットを使用するにあたり、必須なものではありませんが、リアルタイムで波形観測される場合は、ご用意ください。

1.2.3. 開発環境

RX72T/RX66T 向けのプログラムが作成できる環境が必要になります。

WindowsPC 及び、ルネサスエレクトロニクス社の CS+が必要になります。(*1)

(*1)無償評価版はルネサスエレクトロニクスの Web からダウンロード可能
本キットのプログラムは、無償評価版でカバーできるサイズとなっています。

※付属のサンプルソフトは、CS+(Ver8.01)向けのプロジェクトファイルとなっています
※CS+以外の開発環境を使用される場合は、お客様側で CS+プロジェクトファイルの変換等を行ってください

1.2.4. プログラム書き込み環境

書き込みソフトウェアは、ルネサスエレクトロニクス社の RenesasFlashProgrammer を使用します。
書き込みに使用するハードウェアとして、以下の(1)~(3)のいずれかをご用意ください。

(1)USB-ADAPTER, USB-ADAPTER-RX14（北斗電子製）を使用する
(2)ルネサス E1(E20, E2, E2Lite)を使用する
(3)市販の USB-Serial 変換アダプタを使用する

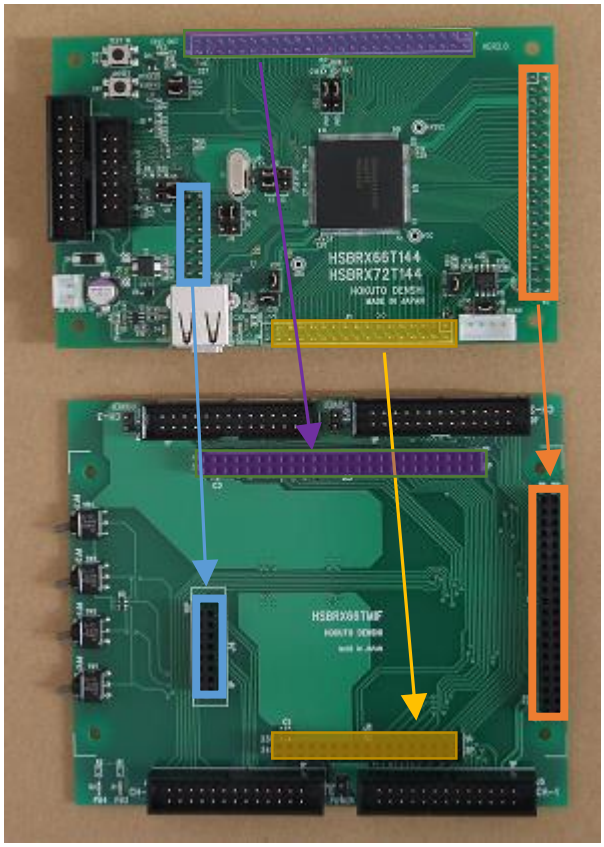
※プログラムのデバッグを行う場合は、ルネサス E1(E20, E2, E2Lite)を使用してください

2. 組み立て

2.1. 組み立て手順

(1)マイコンボードと変換ボードを組み合わせる

マイコンボード（HSBRX72T144/HSBRX66T144 の USB のコネクタが下に来る方向）と変換ボード（スイッチが左側に来る方向）で、変換ボードが下、マイコンボードが上となるようコネクタを合わせて差し込んでください。

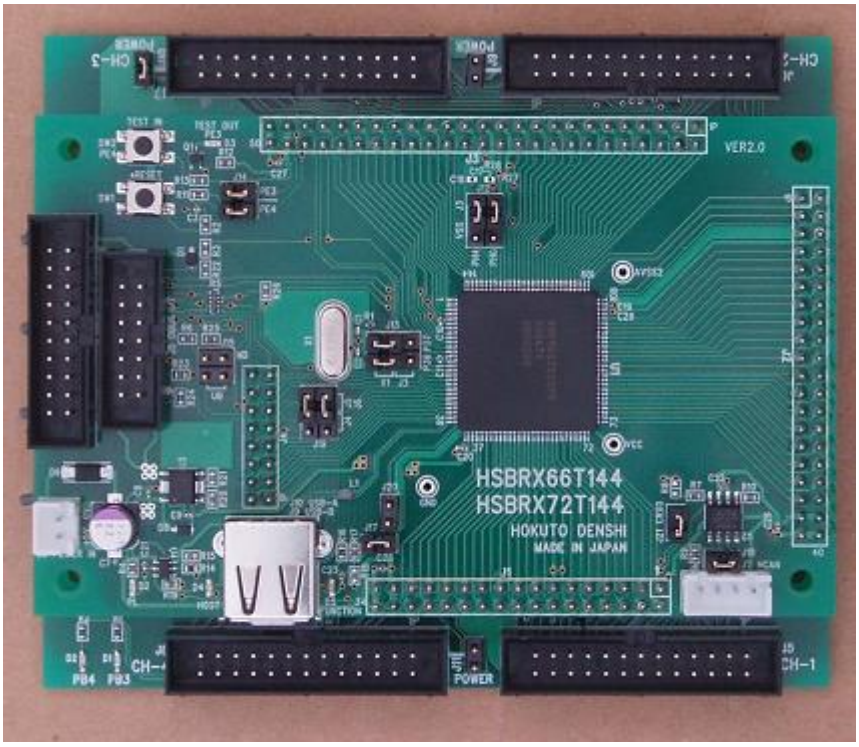


マイコンボード

変換ボード

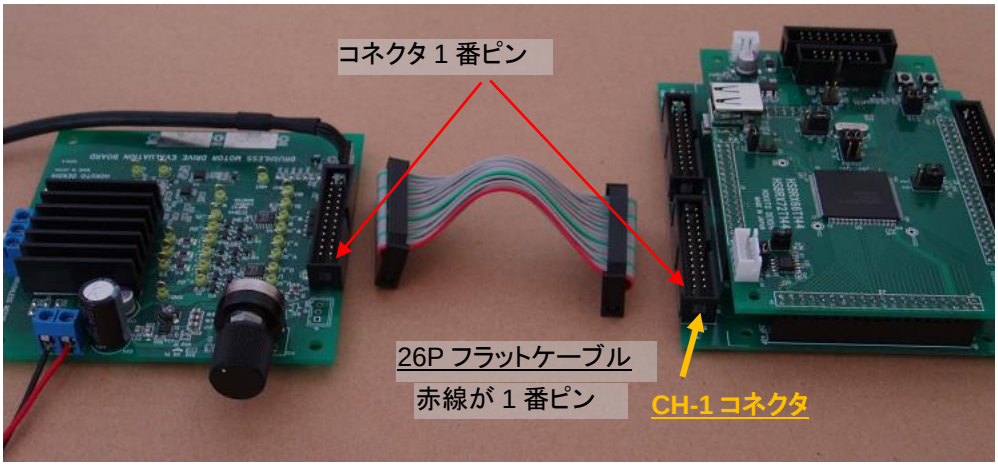
変換ボードには、メスコネクタ。マイコンボードには、ピンヘッダが予め実装されています。

・組み合わせ後



(2)変換ボードとモータドライバボードをフラットケーブルで接続する

変換ボードの CH-1 とモータドライバボードの 26P コネクタを、付属のフラットケーブルで接続してください。その際 1 番ピン同士が接続されるようにしてください。(フラットケーブルの赤線が 1 番ピンです)



モータドライバボード　　変換ボード＋マイコンボード

※変換ボードには、CH-1, CH-2, CH-3, CH-4 と 4 つの 26P のボックスコネクタがありますが、モータドライバボードを 1 つ接続する場合は、基本的には CH-1 を使用してください。

※別売の「ブラシレスモータ拡張キット」を購入頂いて複数のモータを回す場合に、CH-2, CH-3, CH-4 を使用します

(3)モータドライバボードにモータを接続する

モータの電極に付属のモータ駆動ケーブル（ギボシ端子付きケーブル）をモータの電極に接続してください。

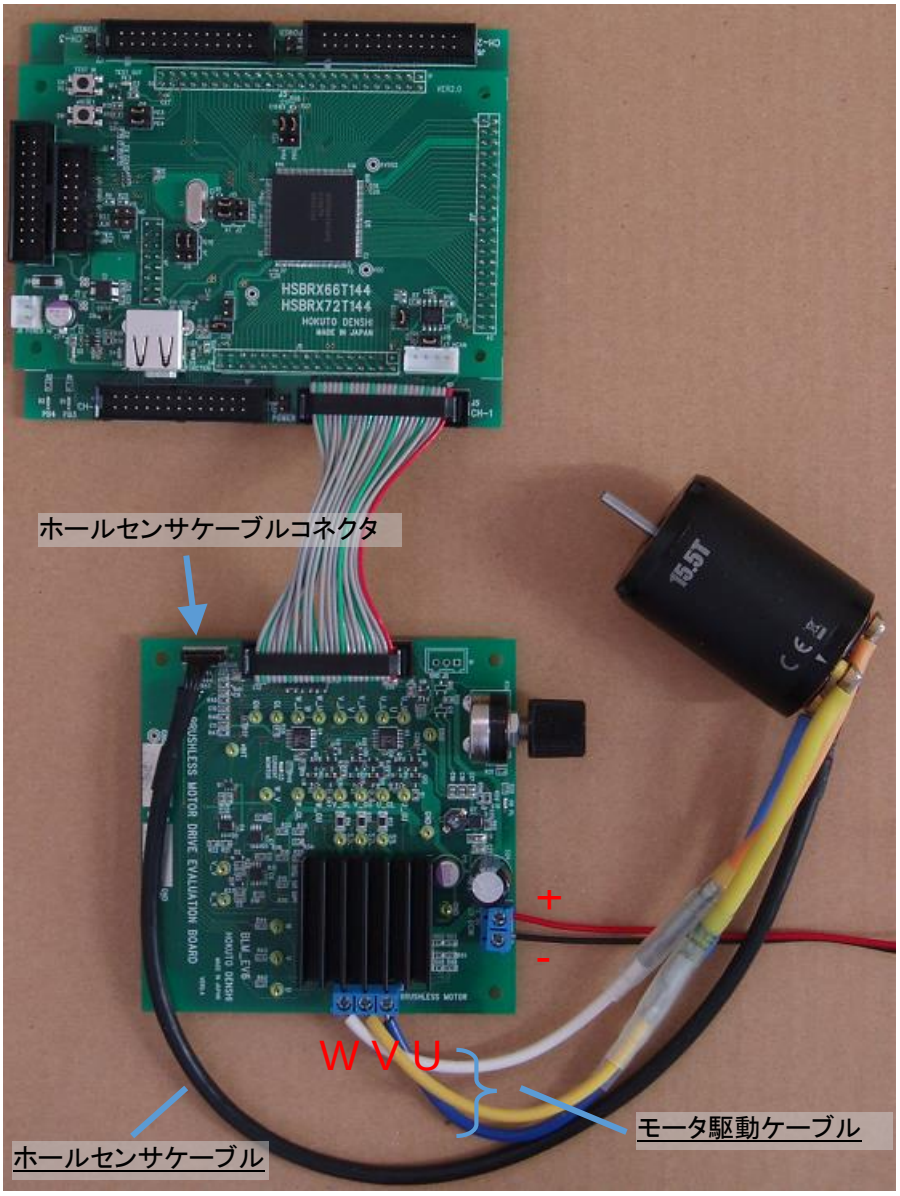
モータの A 端子（青線）を、モータドライバボードコネクタブロックの U 端子（一番左）に接続。モータ B 端子（黄線）と V 端子、モータ C 端子（橙線）と W 端子を接続してください。コネクタブロックは、小型のプラスドライバで線を挟むようにネジを閉めてください。

ホールセンサケーブルを使いモータとモータドライバボードのホールセンサ端子同士を接続してください。（向きに注意。逆向きの場合は刺さりません。）

DC 電源ケーブル（お客様で用意ください）を、DC 電源に接続してください。

DC 電源は、下図の上側が+、下側が-となります、

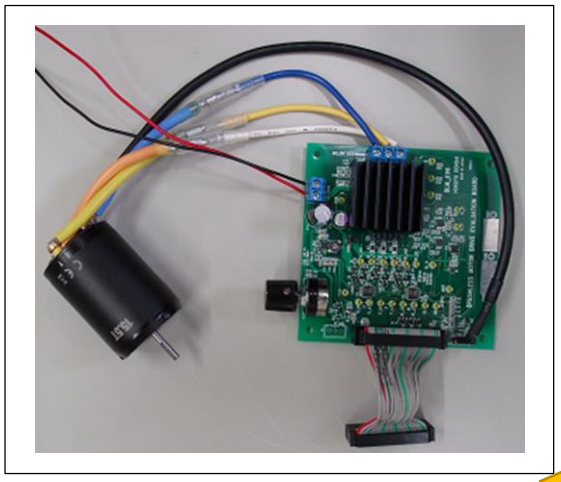
－全体の結線後のイメージ－



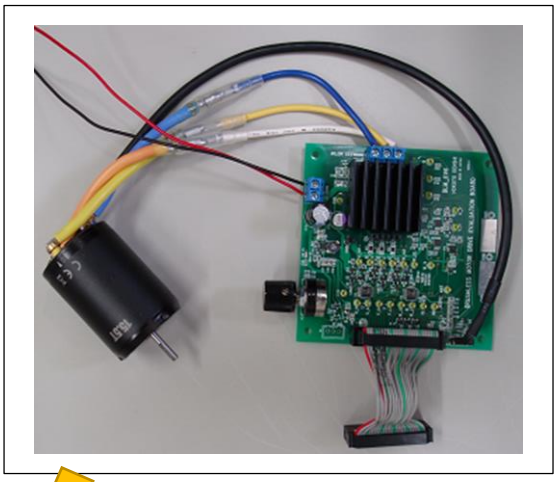
DC 電源に接続する

2.2. 2~4 個のモータを接続する場合

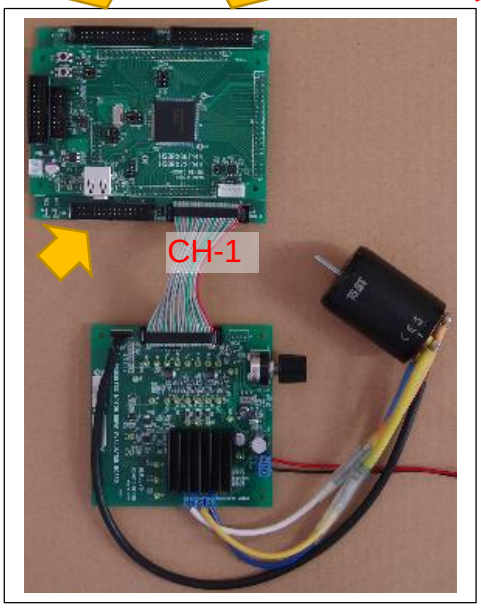
別売の「ブラシレスモータ拡張キット」、をお求め頂き、本製品と接続する事により、1 台のマイコンボードで最大 3 個のモータを制御する事ができます。



ブラシレスモータ拡張キット[別売] CH-3

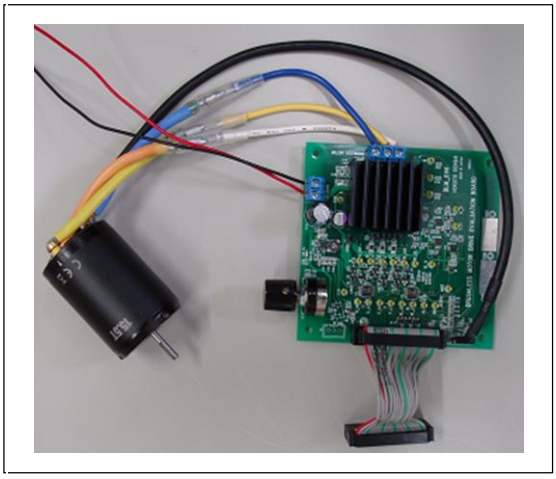


CH-2 ブラシレスモータ拡張キット[別売]



本製品

CH-4



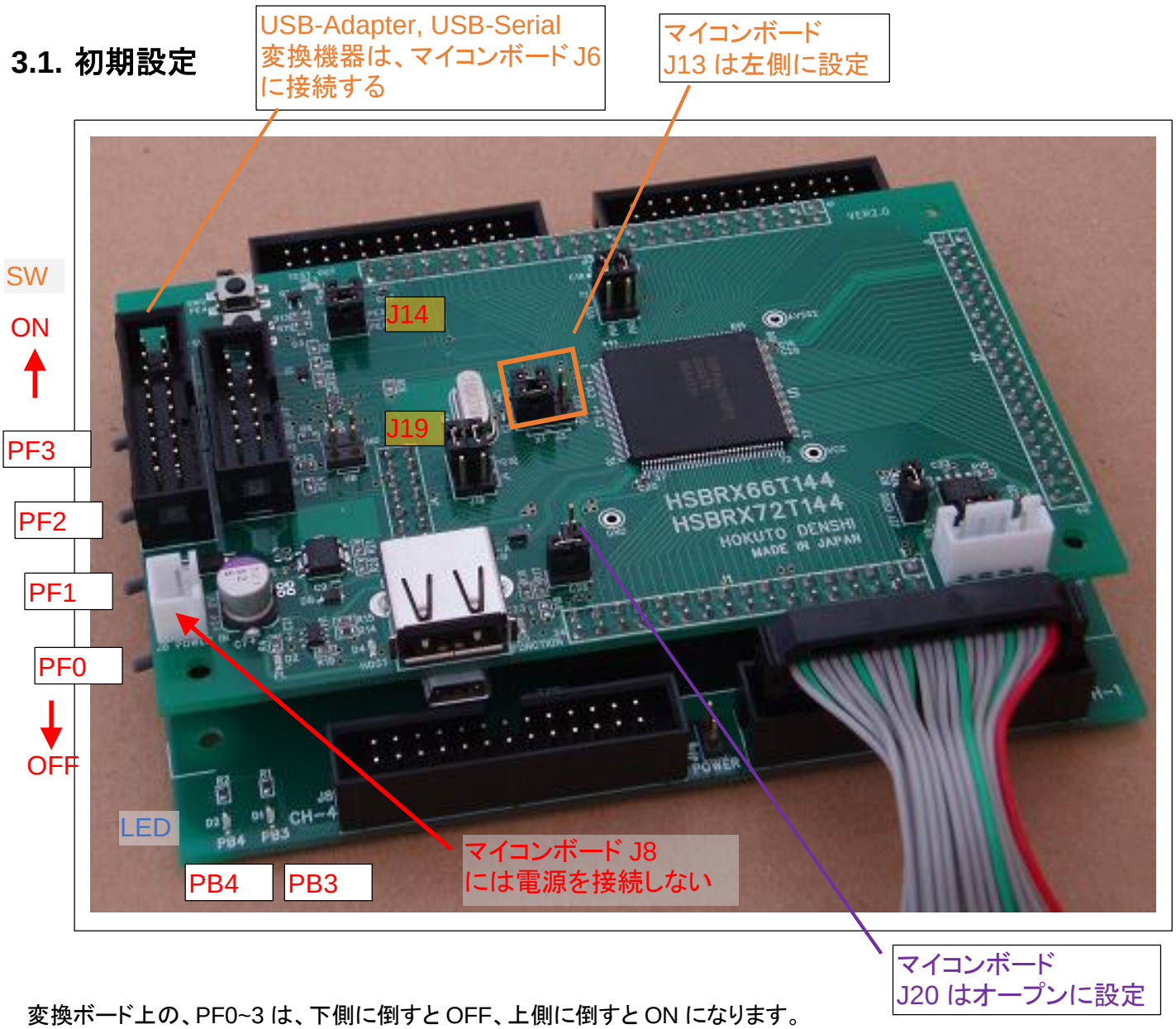
ブラシレスモータ拡張キット[別売]

「ブラシレスモータ拡張キット」を変換ボードの CH-2, CH-3, CH-4 に接続してください。

※複数台のブラシレスモータドライバボードを接続した場合でも、接続ボードの給電は 1 つの CH から行う様にしてください

3. 動作

3.1. 初期設定



変換ボード上の、PF0~3 は、下側に倒すと OFF、上側に倒すと ON になります。

マイコンボードのジャンパは、下記の様に設定してください。

ジャンパ	設定	備考
J13	1-2, 4-5 ショート（左側）	マイコンボード上の Xtal を使用する設定
J14	1-2, 3-4 ショート	マイコンボード上の LED と SW を使用する設定
J19-B	4-5 ショート（上側）	RXD1 を J6 に接続　※シリアル端末からの入力を使用する場合
J20	オープン	PD2/USB-VBUS の信号を USB から切り離す （CH-4 を使用する場合）

マイコンボード J8 には電源を印加しないでください（モータドライバボードより給電されます）。

チュートリアルの UART を使用した文字出力を利用する場合は、マイコンボード J6(20P)に、「USB-Adapter（別売）」もしくは、市販の USB-Serial 変換機器を接続してください。

3.2. 電源を投入する

DC 電源の出力は、7.2V に設定してください。電流リミットが掛けられるタイプの電源では、2A 程度のリミットを掛けてください。

※電源を入れると、モータドライバボード上の PL(D5)LED が点灯します（点灯しない場合は、電源の極性等が間違っている可能性があるので、直ちに電源を切ってください

※電源投入前に、変換ボード上の PD0~PD3 は OFF としてください

※マイコンボードには、モータドライバボードから電源が供給されます
（マイコンボードに別途電源を供給しないでください）

⚠注意

電源の極性及び過電圧には十分にご注意下さい

・ボードに電源を供給する場合は、複数個所からの電源供給を行わないで下さい。製品の破損、故障の原因となります。
・極性を誤ったり、規定以上の電圧がかかると、製品の破損、故障、発煙、火災の原因となります。
・ボード破損を避けるために、電圧を印加する場合には 5～7.2V の範囲になるようにご注意下さい。

※7.2V 以上の電圧を入力しないでください

－電源に関して－
電源は、以下のいずれかを使用してください。

(1)電源装置を使用する
電圧、電流リミットが自由に設定できるタイプの電源装置を使用する事を推奨します。
(2)12V 電源と「ブラシレスモータ用 7.2V 電源接続ボード（別売オプション）」の組み合わせで使用する
12V 2A 以上出力できる電源（シリーズ電源、スイッチング電源、AC アダプタ等）と「ブラシレスモータ用 7.2V 電源接続ボード」を組み合わせて、7.2V の電源を生成することが出来ます。
(3)5V 電源を使用する
付属モータを使用する場合は、モータの能力を引き出すことが出来ませんが、動作を見る分には問題ありません。
(4)ラジコン用の 7.2V バッテリを使用する
市販のラジコン用のバッテリを接続して使用することも出来ます。
但し、ラジコン用のバッテリは電流供給能力が高く、ショートした場合非常に大きな電流が流れ、発火や火傷の原因となりますので、ラジコン用バッテリを使用する場合は
ヒューズ等を電源ラインに挿入して過電流保護を行う
事を、強く推奨します。

3.3. モータを動かす

モータドライバボード上の VR を軸方向から見て目一杯時計回りに回す。
変換ボード上の PD0 を ON に切り替えます。
この時点でモータが回転するはずです。（※マイコンボードに、出荷時のサンプルプログラムが書き込まれている場合）
※モータが動かないときは、配線をチェックしてください

モータドライバボード上の VR を回すと、モータの回転数が変化します。
変換ボード上の PD0 を OFF にすると、モータの回転は止まります。
モータ停止時に、マイコンボード上の SW2 を押すと、モータの回転方向が変わります。

※本キットの出荷時にはモータを動かすプログラムが書き込まれていますが、お客様のプログラムをダウンロード（マイコンの ROM に書き込む）した場合は上記動作とはなりません

※お客様のプログラムを書き込んだ後でも、CD-R に格納されている「サンプルプログラム」を再度書き込むと、上記動作となります

※変換ボード上の LED(D1)が点滅した場合は、過電流保護機構によりモータが停止されていますので、VR をまわして（軸方向からみて時計回り、回転数を下げる方向）リスタート（マイコンボードのリセットスイッチを押す）してください

モータが回った場合は、本キットの接続及び基本動作に関しては問題ありません。

モータドライバボードの詳細はモータドライバボードの説明書を参照してください。
なお、ソフトウェアの説明は、本書とは別の「ソフトウェア編」マニュアルを参照してください。

ソフトウェアマニュアルには、モータを回すまでのチュートリアルが含まれていますので、ブラシレスモータにはじめて触れる方は、チュートリアルを参考にしてみてください。

4. 接続ボード

4.1. 概要

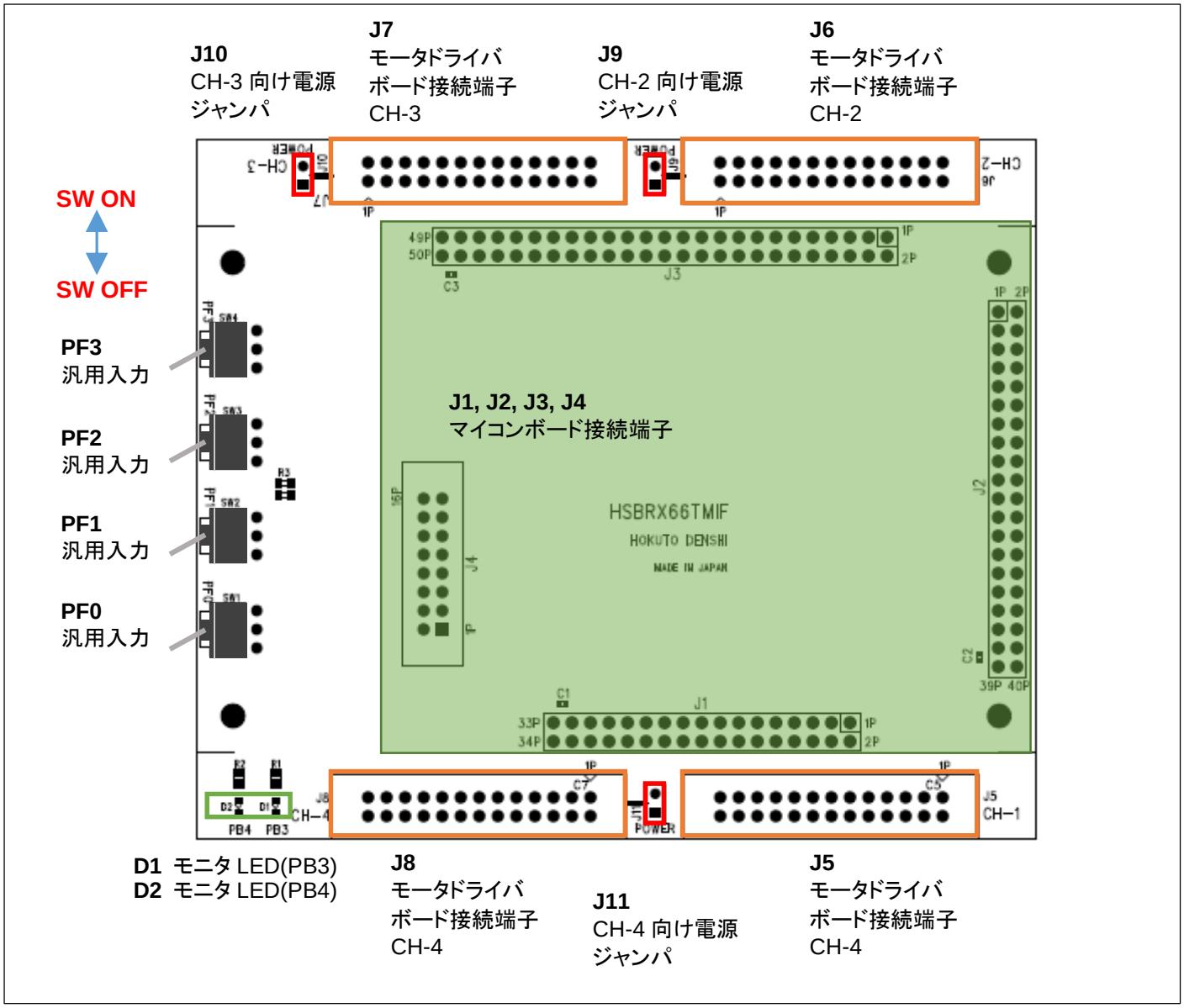
接続ボード(HSBRX66TMIF)は、以下の端子を持ちます。

・マイコンボードインタフェース(J1-34P)
・マイコンボードインタフェース(J2-40P)
・マイコンボードインタフェース(J3-50P)
・マイコンボードインタフェース(J4-16P)
・モータ制御ボードインタフェース CH-1(J5-26P)
・モータ制御ボードインタフェース CH-2(J6-26P)
・モータ制御ボードインタフェース CH-3(J7-26P)
・モータ制御ボードインタフェース CH-3(J8-26P)

また、以下の機能を有しています。

・トグルスイッチ(PF0~PF3)
4 つのトグルスイッチでマイコンボードを制御
・モニタ LED(D1, D2)
2 つのモニタ LED を任意の用途で利用可能

4.2. ボードレイアウト



接続ボードのレイアウトを上図に示します。

J1~J4(ピンコネクタ)は、マイコンボードと接合するためのコネクタです。

J5~J8(26P ボックスコネクタ)は、モータドライバボードと接続するためのコネクタです。

その他、4 つのトグルスイッチ(PF0~PF3)、2 つのモニタ LED(D1,D2)と、電源接続用のジャンパ(J9~11)があります。電源接続用のジャンパは、次ページを参照してください。

4.3. 電源系

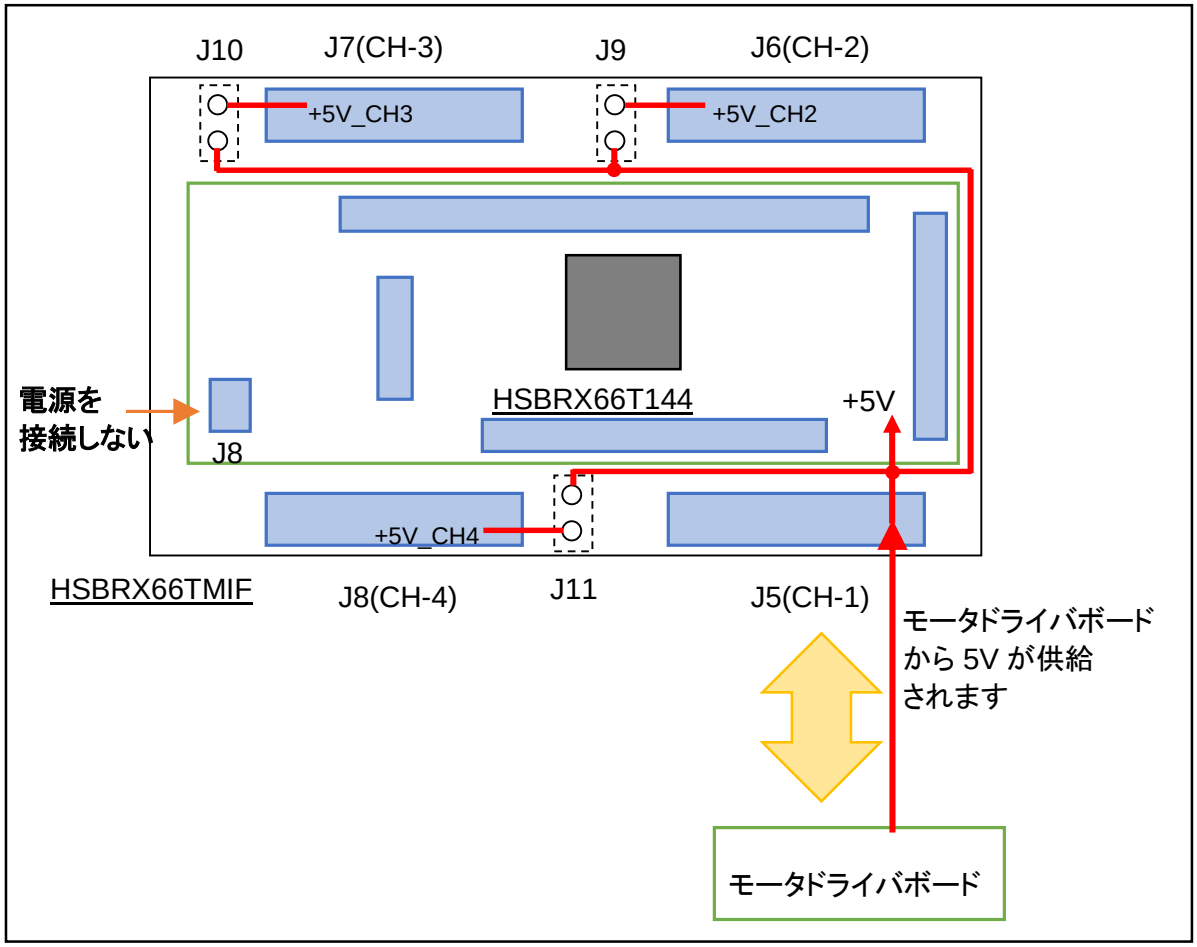


図　電源供給方法イメージ図

マイコンボード(HSBRX72T144/HSBRX66T144)に対しての給電は、接続ボード(HSBRX66TMIF)を通して行われます。マイコンボードの電源コネクタ(J8)には電源を接続しないでください。

CH-1 にモータドライバボードを接続した場合は CH-1 のコネクタ経由(J5)でマイコンボードに電源が供給されます。

CH-1 を未接続として、CH-2 にモータドライバボードを接続した場合は、J9 をショートに設定してください。

複数のモータドライバボードを接続する場合で CH-1 にモータドライバボードを接続するケース:
CH-1 からマイコンボードに電源が供給されますので、CH-2~CH4 にモータドライバボードを接続した場合でも。J9~J11 はオープンで使用してください。

複数のモータドライバボードを接続する場合で CH-1 にモータドライバボードを接続しないケース:
モータドライバボードを接続した、いずれか 1 箇所の J9~J11 ジャンパをショートに設定してください。

+5V に複数の箇所から電源が印加される事が無い様ジャンパを設定願います。

4.4. 信号接続

4.4.1. SW

スイッチは、マイコンボードに指令を与える等の目的で使用します。ON 方向（上方向）に倒すと L レベル、OFF 方向（下方向）で H レベルとなります。

部品	マイコン側信号名（ピン番号）	用途	備考
PF0	PF0(34)	汎用入力	pull-up
PF1	PF1(33)	汎用入力	pull-up
PF2	PF2(32)	汎用入力	pull-up
PF3	PF3(31)	汎用入力	pull-up

※添付 CD 内のサンプルプログラムでは、PF0~PF3 が CH-1~CH-4 の ON/OFF に連動させています
ハードウェア上、4 つのスイッチ CH-n とはひも付けされていませんので、自由な組み合わせで任意の用途に使用することができます

4.4.2. LED

LED は、マイコンの動作状態等をモニタする用途で使用します。H 駆動で LED が ON します。

部品	マイコン側信号名（ピン番号）	用途	備考
D1	PB3(48)	モニタ	H 駆動で点灯
D2	PB4(43)	モニタ	H 駆動で点灯

4.4.3. J5 モータドライバボード接続端子 CH-1

端子番号	信号名	入出力区分	アナログ／デジタル	マイコン側信号名（ピン番号）	用途	備考
1	GND	-	-		Ground	
2	GND	-	-		Ground	
3	+5V	-	-		+5V マイコンボード電源	
4	+5V	-	-		+5V マイコンボード電源	
5	Q1U	OUT	Digital	P95/MTIOC6B(67)	U 相 H 側駆動信号	(*1)
6	Q1L	OUT	Digital	P92/MTIOC6D(70)	U 相 L 側駆動信号	(*1)
7	Q2U	OUT	Digital	P94/MTIOC7A(68)	V 相 H 側駆動信号	(*1)
8	Q2L	OUT	Digital	P91/MTIOC6C(71)	V 相 L 側駆動信号	(*1)
9	Q3U	OUT	Digital	P93/MTIOC7B(69)	W 相 H 側駆動信号	(*1)
10	Q3L	OUT	Digital	P90/MTIOC7D(72)	W 相 L 側駆動信号	(*1)
11	QU	OUT	Digital	P22/TMO4(97)	H 側駆動信号	UVW 3 相まとめて制御
12	QL	OUT	Digital	P24/TMO6(95)	L 側駆動信号	UVW 3 相まとめて制御
13	VR	IN	Analog	P65/AN211(102)	可変抵抗出力	
14	(NC)			-		
15	AD0	IN	Analog	P61/AN207(109)	U 相電圧	
16	AD1	IN	Analog	P62/AN208(108)	V 相電圧	
17	AD2	IN	Analog	P63/AN209(107)	W 相電圧	
18	AD3	IN	Analog	P44/AN100(123)	U 相駆動電流	
19	AD4	IN	Analog	P45/AN101(122)	V 相駆動電流	
20	AD5	IN	Analog	P46/AN102(121)	W 相駆動電流	
21	AD6	IN	Analog	P47/AN103(120)	温度センサ入力	
22	AD003	IN	Analog	P64/AN210(103)	入力電源電圧モニタ入力	
23	*INT	IN	Digital	P96/IRQ4(65)	過電流割り込み信号	
24	HS1	IN	Digital	P34/IRQ3(61)	ホールセンサ 1 入力	
25	HS2	IN	Digital	PC6/IRQ11(62)	ホールセンサ 2 入力	
26	HS3	IN	Digital	PC5/IRQ10(63)	ホールセンサ 3 入力	

*は負論理を表す

(*1)MTIOC6,7 の他、GTIOC4~6、GTIOC7~9 の割付も可能です

4.4.4. J6 モータドライバボード接続端子 CH-2

端子番号	信号名	入出力区分	アナログ／デジタル	マイコン側信号名（ピン番号）	用途	備考
1	GND	-	-		Ground	
2	GND	-	-		Ground	
3	+5V_CH-2	-	-			(*1)
4	+5V_CH-2	-	-			(*1)
5	Q1U	OUT	Digital	P71/MTIOC3B(78)	U 相 H 側駆動信号	(*2)
6	Q1L	OUT	Digital	P74/MTIOC3D(75)	U 相 L 側駆動信号	(*2)
7	Q2U	OUT	Digital	P72/MTIOC3B(77)	V 相 H 側駆動信号	(*2)
8	Q2L	OUT	Digital	P75/MTIOC4C(74)	V 相 L 側駆動信号	(*2)
9	Q3U	OUT	Digital	P73/MTIOC4B(76)	W 相 H 側駆動信号	(*2)
10	Q3L	OUT	Digital	P76/MTIOC4D(73)	W 相 L 側駆動信号	(*2)
11	QU	OUT	Digital	PB0/TMO0(51)	H 側駆動信号	UVW 3 相まとめて制御
12	QL	OUT	Digital	PA7/TMO2(52)	L 側駆動信号	UVW 3 相まとめて制御
13	VR	IN	Analog	P60/AN206(110)	可変抵抗出力	
14	(NC)			-		
15	AD0	IN	Analog	P52/AN200(114)	U 相電圧	
16	AD1	IN	Analog	P53/AN201(113)	V 相電圧	
17	AD2	IN	Analog	P54/AN202(112)	W 相電圧	
18	AD3	IN	Analog	P40/AN000(131)	U 相駆動電流	
19	AD4	IN	Analog	P41/AN001(130)	V 相駆動電流	
20	AD5	IN	Analog	P42/AN002(129)	W 相駆動電流	
21	AD6	IN	Analog	P43/AN003(128)	温度センサ入力	
22	AD003	IN	Analog	P55/AN203(111)	入力電源電圧モニタ入力	
23	*INT	IN	Digital	P70/IRQ5(79)	過電流割り込み信号	
24	HS1	IN	Digital	PG0/IRQ0(82)	ホールセンサ 1 入力	
25	HS2	IN	Digital	PG1/IRQ1(81)	ホールセンサ 2 入力	
26	HS3	IN	Digital	PG2/IRQ2(80)	ホールセンサ 3 入力	

*は負論理を表す

(*1)J9 ショート時、このポートからマイコンボードに給電を行います

(*2)MTIOC3,4 の他、GTIOC0~2、GTIOC4~6 の割付も可能です

4.4.5. J7 モータドライバボード接続端子 CH-3

端子番号	信号名	入出力区分	アナログ／デジタル	マイコン側信号名（ピン番号）	用途	備考
1	GND	-	-		Ground	
2	GND	-	-		Ground	
3	+5V_CH-3	-	-			(*1)
4	+5V_CH-3	-	-			(*1)
5	Q1U	OUT	Digital	P12/GTIOC7A(3)	U 相 H 側駆動信号	(*3)
6	Q1L	OUT	Digital	P15/GTIOC7B(144)	U 相 L 側駆動信号	(*3)
7	Q2U	OUT	Digital	P13/GTIOC8A(2)	V 相 H 側駆動信号	(*3)
8	Q2L	OUT	Digital	P16/GTIOC8B(143)	V 相 L 側駆動信号	(*3)
9	Q3U	OUT	Digital	P14/GTIOC9A(1)	W 相 H 側駆動信号	(*3)
10	Q3L	OUT	Digital	P17/GTIOC9B(142)	W 相 L 側駆動信号	(*3)
11	QU	OUT	Digital	PE5(5)	H 側駆動信号	UVW 3 相まとめて制御
12	QL	OUT	Digital	P11/TMO3(140)	L 側駆動信号	UVW 3 相まとめて制御
13	VR	IN	Analog	P50/AN204(116)	可変抵抗出力	
14	(NC)				-	
15	AD0	IN	Analog	PH5/AN104(119)	U 相電圧	
16	AD1	IN	Analog	PH6/AN105(118)	V 相電圧	
17	AD2	IN	Analog	PH7/AN106(117)	W 相電圧	
18	AD3	IN	Analog	PH1/AN004(127)	U 相駆動電流	
19	AD4	IN	Analog	PH2/AN005(126)	V 相駆動電流	
20	AD5	IN	Analog	PH3/AN006(125)	W 相駆動電流	
21	AD6	IN	Analog	P51/AN205(115)	温度センサ入力	
22	AD003	IN	Analog	-	入力電源電圧モニタ入力	(*2)
23	*INT	IN	Digital	P30/IRQ7(91)	過電流割り込み信号	
24	HS1	IN	Digital	P31/IRQ6(89)	ホールセンサ 1 入力	
25	HS2	IN	Digital	P32/IRQ12(87)	ホールセンサ 2 入力	
26	HS3	IN	Digital	P33/IRQ13(86)	ホールセンサ 3 入力	

*は負論理を表す

(*1)J10 ショート時、このポートからマイコンボードに給電を行います

(*2)CH-3 は、AD003（電源電圧モニタ）は割り当てされていません（これらの信号をモニタすることはできません）

(*3)GTIOC7~9 の他、MTIOC3,4、GTIOC0~2 の割付も可能です

4.4.6. J6 モータドライバボード接続端子 CH-4

端子番号	信号名	入出力区分	アナログ／デジタル	マイコン側信号名（ピン番号）	用途	備考
1	GND	-	-		Ground	
2	GND	-	-		Ground	
3	+5V_CH-4	-	-			(*1)
4	+5V_CH-4	-	-			(*1)
5	Q1U	OUT	Digital	PD2/GTIOC0A(23)	U 相 H 側駆動信号	
6	Q1L	OUT	Digital	PD1/GTIOC0B(24)	U 相 L 側駆動信号	
7	Q2U	OUT	Digital	PD0/GTIOC1A(25)	V 相 H 側駆動信号	
8	Q2L	OUT	Digital	PB7/GTIOC1B(26)	V 相 L 側駆動信号	
9	Q3U	OUT	Digital	PB6/GTIOC2A(27)	W 相 H 側駆動信号	
10	Q3L	OUT	Digital	PB5/GTIOC2B(28)	W 相 L 側駆動信号	
11	QU	OUT	Digital	PE0(17)	H 側駆動信号	UVW 3 相まとめて制御
12	QL	OUT	Digital	PE1/TMO5(16)	L 側駆動信号	UVW 3 相まとめて制御
13	VR	IN	Analog	P21/AN217(68)	可変抵抗出力	
14	(NC)					
15	AD0	IN	Analog	-	U 相電圧	(*2)
16	AD1	IN	Analog	-	V 相電圧	(*2)
17	AD2	IN	Analog	-	W 相電圧	(*2)
18	AD3	IN	Analog	-	U 相駆動電流	(*2)
19	AD4	IN	Analog	-	V 相駆動電流	(*2)
20	AD5	IN	Analog	-	W 相駆動電流	(*2)
21	AD6	IN	Analog	P20/AN216(69)	温度センサ入力	
22	AD003	IN	Analog	-	入力電源電圧モニタ入力	(*2)
23	*INT	IN	Digital	PC3/IRQ14(99)	過電流割り込み信号	
24	HS1	IN	Digital	PK0/IRQ15(85)	ホールセンサ 1 入力	
25	HS2	IN	Digital	PK1/IRQ8(84)	ホールセンサ 2 入力	
26	HS3	IN	Digital	PK2/IRQ9(83)	ホールセンサ 3 入力	

*は負論理を表す

(*1)J11 ショート時、このポートからマイコンボードに給電を行います

(*2)CH-4 は、各相電圧、各相電流、AD003（電源電圧モニタ）は割り当てされていません（これらの信号をモニタすることはできません）

※接続ボード J1, J2, J3, J4 は、マイコンボード(HSBRX66T144/HSBRX72T144)と同じピン配置となっています

取扱説明書改定記録

バージョン	発行日	ページ	改定内容
REV.1.0.0.0	2019.7.11	—	初版発行
REV.1.1.0.0	2025.3.11	4,5	ブラシレスモータの型番変更

お問合せ窓口

最新情報については弊社ホームページをご活用ください。

ご不明点は弊社サポート窓口までお問合せください。

株式会社 北斗電子

〒060-0042 札幌市中央区大通西 16 丁目 3 番地 7

TEL 011-640-8800　FAX 011-640-8801

e-mail：support@hokutodenshi.co.jp (サポート用)、order@hokutodenshi.co.jp (ご注文用)

URL:http://www.hokutodenshi.co.jp

商標等の表記について

- 全ての商標及び登録商標はそれぞれの所有者に帰属します。
- パーソナルコンピュータを PC と称します。

ルネサス エレクトロニクス RX72T/RX66T(QFP-144 ピン)搭載
ブラシレスモータスタータキット

ブラシレスモータスタータキット (RX72T/RX66T) 取扱説明書

株式会社北斗電子

©2019-2025 北斗電子 Printed in Japan 2025 年 3 月 11 日改訂 REV.1.1.0.0 (250311)